

ねりま



地域活動ニュース

発行：練馬区立区民協働交流センター

vol.62

練馬区の
地域活動団体などを
毎月紹介しています!



今月の紹介団体 *****



2面

ねりま笑店街実行委員会・
ねりまキッズボランティア
江口 暁さん



3面

NPO法人科学技術教育ネットワーク
中島 晃芳さん



「税理士による会計・税務相談」を 活用してみませんか?

練馬区立区民協働交流センターでは、練馬区で活動するNPO等の地域活動団体を対象に、
税理士による会計・税務相談を毎月実施しています(事前予約制)。
団体の会計・税務について相談したい方はぜひご利用下さい。
(相談例：団体の確定申告について、助成金申請に必要な会計書類について、等)

【実施日時】毎月第3火曜日 13時～16時(1団体あたり50分間)
※事前予約制です。申し込みが多い場合は先着順とします。
※第3火曜日が祝休日の場合、第4火曜日に実施します。

【担当税理士】浅野ますみ氏(東京税理士会練馬西支部所属)

【予約方法】実施日の1週間前までに、窓口、電話、メール等にて



【問い合わせ・申込み先】 練馬区立区民協働交流センター TEL:03-6757-2025 FAX:03-6757-2026
E-mail:KYODOSUIISHIN02@city.nerima.tokyo.jp

子どもたちの「やりたい!」を地域で応援

ねりま笑店街実行委員会・ねりまキッズボランティア



事務局の江口 暁さん

区内でさまざまなボランティア活動を行っている「ねりまキッズボランティア」。小学生を中心としたメンバーで、地域のお祭りやイベントに参加したり、絵ハガキを描いて傾聴ボランティア・こだまの会と協働で高齢者の方々へ送ったり…と、幅広く活動しています。

設立は2015年。練馬駅南口の商店街で仕事体験や遊びができるイベント「練馬こども笑店街」に参加していた子どもたちが、運営や出店にかかわりたい!と声を上げたのがきっかけでした。



すずらん新聞の取材で小泉牧場を訪問。“こども記者”としてインタビュー中!

それ以降、商店会や地域団体、武蔵大学のボランティアサークルA'tの学生など、多世代のサポートを受けながら活動の場を広げてきました。

「月に1回開催している定例会では子どもたち同士でやりたいことを決め、自主的に行動しています。私たち大人はあくまでもそのサポートをするだけで、子どもたちに強制をすることのないよう心がけています」と話すのは、事務局を務める江口さんです。定例会では、活動後に大学生たちと1時間ほど公園で遊ぶそう。こうした、ゆるくて自由な雰囲気も特徴です。

また、「ねりまこども新聞社」として毎年1回「すずらん新聞」を発行しているのも活動の1つ。「ガールスカウト東京都第172団」の有志メンバーと一緒に企画から取材、記事の作成、配達まで、“こども記者”が担当。子どもたちの豊かな発想や豊富なアイデアには毎回驚かされるそうです。

コロナ禍ではオンラインで活動を継続してきましたが、対面イベ



5月に平成つつじ公園で開催されたフリマでは、雑貨などの物品販売や手作りゲームを出店しました

ントを少しずつ再開するようになると、子どもたちの表情から、達成感がより得られたことが見てとれ

ました。

「地域の人たちと一緒に活動することが、子どもたちの学びや成長につながっているんです。大人

の方々からは、子どもたちから元気をもらったという声をたくさんいただいています」とのこと。

現在メンバーは25名。最近ではチラシや口コミなどで評判が広がり、小学生や5才の子どもから「ボランティアをしたい」と問い合わせが来ることもあるそうです。

「子どもの自主性を尊重しながら、地域のさまざまな団体とのネットワークを生かし、若い力で地域を活性化させていきたいと思っています」と江口さんは言います。

家や学校とも違う、子どもたちが地域で輝ける場所。ここでしかできない活動や交流をぜひ一緒に体験してみませんか?

■ねりま笑店街実行委員会・ねりまキッズボランティア

事務局：江口 暁

メール：nerimanowa@jcom.zaq.ne.jp

ホームページ：https://nerima-syotengai.jimdofree.com/

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■自然保護助成基金「プロ・ナトゥーラ・ファンド助成」

【助成対象】 3人以上からなる市民グループ等が行う自然環境の保全に資する調査および研究や、自然保護活動

【助成金額】 1件あたりの上限額：100万円～200万円

【応募期限】 2022年7月14日

【関連URL】 https://www.pronaturajapan.com/foundation/pronatura_fund.html

【問い合わせ】 公益財団法人自然保護助成基金 プロ・ナトゥーラ・ファンド助成担当係 TEL：03-5454-1789

E-mail：office@pronaturajapan.com

■SOMPO福祉財団「住民参加型福祉活動資金助成」

【助成対象】 東日本地区に所在し、5人以上で活動する営利を目的としない法人格のない団体の、地域における高齢者・障害者・子ども等に関する複合的な生活課題に地域住民が主体となって包括的な支援を行う活動

【助成金額】 1団体あたりの上限額：30万円

【応募期限】 2022年7月15日

【関連URL】 <https://www.sompo-wf.org/>

【問い合わせ】 公益財団法人SOMPO福祉財団 事務局 〒160-8338 新宿区西新宿1-26-1

TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257

ロボット教育で日本の教育を変えていきたい!

NPO法人科学技術教育ネットワーク



理事の中島 晃芳さん

NPO法人科学技術教育ネットワーク(略称NEST)は、2012年の設立以来、ロボット教材を使って、ICT(情報コミュニケーション技術)を利用した科学技術教育を実践しています。対象は小学生から高校生まで。

中心メンバーの1人である中島さんが、「子どもたちが能動的に学べる場を作りたい」という強い思いで、区内で塾を経営するかたわら、前身の任意団体の時代から20年以上活動を続けています。2020年度から小学校で



NESTロボコンで行われるロボットサッカー競技。2台のロボット同士で対戦します

必修化され、今まさに注目されているプログラミング教育。中島さんは、「プログラミング教育は単にプログラミングのスキルを教えるだけではなく、子どもたちが推論・実験・検証を繰り返しながら、論理的思考力や問題解決力を身に付けられるようにすることが目的なんです」と話します。

NESTの主な活動は、自律型ロボットのプログラミング講座やロボットコンテストの主催。ロボットサッカーなどの競技を行うロボカップジュニアの日本大会の運営にも携わっており、教え子の中からは世界チャンピオンも出たそ

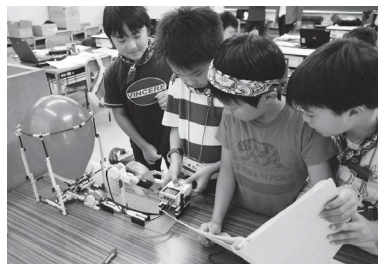
う。さらに、ワークショップなどの普及活動や、指導者の人材育成にも力を入れています。

また、コロナ禍以前は、毎年合宿イベントとして、デジタル機器を使って光や気温などのデータを収集・解析す

る高尾山での「ICT科学キャンプ」や、神奈川県の実鶴で海と生き物に触れ、観察・観測を行う「オーシャンプロジェクト」などを開催。実践的な学びを通して、チームで目標達成の喜びを体験できる場を積極的に提供してきました。

「新型コロナウイルス感染症が収束したら、合宿イベントを再開したいですね。いつか練馬区でロボットコンテストの大会を開催し、地域にも貢献していきたいと思っています」

NESTが目指す“教育”は、日本を担う子どもたちの将来を見据えたもの。「大切なのは、先生が一方向的に教えたり答えを提示したりせず、子どもたちが自主的に知識を獲得して解決への道筋を考えられるように促すこと」と考える中島さんの挑戦はまだ続きます。



ICT科学キャンプで、センサーが取得したデータを読み解く子どもたち

■NPO法人科学技術教育ネットワーク

理事：中島 晃芳

TEL：03-5946-5536

メール：info@npn-nest.org

ホームページ：

<https://www.npo-nest.org/>

■お金をまわそう基金 助成事業

あらかじめ決まった財源から助成をするのではなく、助成対象としての選考後に支援者へ寄付を募り、寄付されたものすべてを助成金として助成先団体へお渡しします。

【助成対象】 法人格を持つ非営利団体が行う、4つの分野(子ども、スポーツ、文化・伝統技術、地域経済・地域社会)の社会課題解決のための非営利活動・公益事業

【応募期限】 2022年6月30日

【関連URL】 <https://okane-kikin.org/subsidy-request>

【問い合わせ】 公益財団法人お金をまわそう基金

〒102-0082 千代田区一番町29-2

E-mail: info@okane-kikin.org

TEL: 03-6380-9864 (平日10時~17時)

■市民社会創造ファンド「ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」

【助成対象】 ヘルスケアを重視した社会の実現に向けて、「心とからだのヘルスケア」の領域で活躍する市民団体や患者団体・障がい者団体による「健やかなコミュニティづくり」に関する事業

【助成金額】 1件あたりの助成金額：50万円～300万円

【応募期限】 2022年6月30日

【関連URL】 https://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy/pfizer_program/announce/index.html

【問い合わせ】 特定非営利活動法人市民社会創造ファンド

ファイザープログラム事務局 山田・坂本

〒103-0012 中央区日本橋堀留町1-4-3 日本橋MIビル1階

TEL: 03-5623-5055 E-mail: pfp@civillfund.org

区民協働交流センター(つながる窓口)を活用しませんか?



区民協働交流センター(つながる窓口)では、様々な取り組みを通じて皆様の地域活動を応援しています! ぜひご利用ください!

施設のご案内

多目的室(2部屋)

※要予約・有料

会議や活動スペースとしてご利用いただけます。2部屋の間仕切りを開けて1部屋としても利用可能です。



作業コーナー

※予約不要・一部有料

チラシやポスター、資料の印刷、丁合ができるコーナーです。作業に役立つ機器も利用いただけます。

設置機器: 複写機(白黒)、印刷機(白黒)、紙折り機、裁断機
拡大複写機(カラー)、大型穴あけパンチ、大型ホチキス

交流コーナー

※予約不要・無料

長机と椅子があり、簡単な打ち合わせや話し合いにご利用いただけます。



情報コーナー

※予約不要・無料

地域で活動する団体の皆様が作成したチラシ(A4判以下)の配架や、ポスター(A2判以下)の掲示ができます。



喫茶・軽食コーナー

社会福祉法人章佑会「やすらぎ夢工房」がコーヒー等の飲み物や軽食を販売しています♪

● 営業時間/10:30~18:30(日曜日定休)



団体登録のご案内

町会・自治会、特定非営利活動法人、ボランティア団体など、練馬区内で公益的な活動を行う団体であれば、区民協働交流センターの団体登録が可能です。団体登録していただくと、以下のようなメリットがあります。ぜひご検討ください!

※団体登録には一部要件があります。

●もしもの時の… 地域活動保険に加入できます!

地域活動団体の皆様が安心して活動できるよう、活動中の思わぬ事故を対象とした保険です。



●ロッカー兼メールボックスを利用できます!

団体内でロッカーの鍵を共有することで、情報交換や資料の保管等に活用いただけます。



- 多目的室を6か月前から申込みができます。(通常は前月~2か月前)

- 作業コーナーの利用について、予約ができます。(通常は予約不可)

練馬区立区民協働交流センター(つながる窓口)

区民協働交流センター(つながる窓口)では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること
専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。



<https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/>

練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima

練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ

※過去の地域活動ニュースも掲載中
<http://www.nerima-kyodo.com/>

練馬区立区民協働交流センター 検索

練馬 1-17-1 ココネリ 3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時~22時(12/29~1/3は休業)
事業の実施等により開館時間が変更となる場合があります。

★音声でお読みいただけます 「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松 2-16-12 TEL:03-3577-5666